



原口美喜磨

— 動く光のミュージアム —

2015年

9/19_[土] → 11/15_[日]

開館時間 10:00 - 18:00 [入館は17:30まで]

休館日 月曜日、但し9/21・10/12は開館し9/24・10/13休館

入館料 一般 500円 / 団体[10人以上] 400円 / 高校生以下無料

※会期中は板谷波山記念館もご利用いただけます

※障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1人は無料です

※第3日曜日「家庭の日」(9/20・10/18・11/15)は高校生以下のお子様連れのご家族は無料です

主催 しもだて美術館、筑西市教育委員会、筑西市 展示監修 原口美喜磨 協力 株式会社マルシン楽器

<作品写真左上から>

「光の旋回 No.2」1980年 / 「掌中のオーロラ」1986年 / 「ポンピットのタマゴ」1986年
「宇宙クラゲ-C」2003年 / 「光のステーション」1979年 / 「光の旋回 No.3」2014年

動く！ 輝く！
作品動画配信中心！！



 しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

〒308-0031 茨城県筑西市丙372 アルテリオ3階 TEL 0296-23-1601 FAX 0296-23-1604
Email datebi@city.chikusei.lg.jp HP <http://www.shimodate-museum.jp/>

しもだて美術館は、「光の彫刻家」原口美喜磨の展覧会を開催します。原口は1945年下館市（現 筑西市）に生まれました。東京藝術大学在学中から「光」を素材とした立体作品に取り組み、同大学院修了後、新たな表現を求めて、海外で最先端のサイエンスとアートが融合した作品を学びます。それは機械や電気を利用して動く「キネティック・アート」と呼ばれる芸術作品でした。

以来、原口は、さらに芸術性を追究し、「機械」と「光」を絵具の代わりにして、「動きながら刻々と姿を変える光の輝き」に「美」を見出し、1992年のセビア万国博覧会日本政府館招待出品作家に選ばれるなど、注目を集めます。

近年では、「自然光と芸術の融合」をテーマに新たな作品に挑戦し続けています。今展では、これら近作も含めた約35点の作品により、原口のサイエンス・ライト・アートの世界をご紹介します。



〈作品写真左から〉
「風、光、祈り」2001年
「光・宿る時」1999年
「小さな光」2014年
「ステップ、ステップ、ステップ
星まで」2007年



関連行事

□エレクトリック・サウンド・コンサート

サイエンス・アートが生まれた1960～80年代。音楽も電子楽器による新しい表現が登場しました。展覧会にちなみ、当時のエレクトリック・サウンドをはじめとする楽曲を、華やかなエレクトーン演奏でお楽しみください。

- ◇日時 10月11日〔日〕13:30～
- ◇会場 美術館ロビー
- ◇出演 金久保 恵（ヤマハ音楽教室システム講師）
- ◇曲目 ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」／J.S. バッハ作曲「トッカータとフーガ」／YMO作曲「ライディーン」他
- ◇席数 先着80人
- ◇料金 無料（展覧会入館は有料です）

□展覧会ツアー

当館学芸員のご案内で、作品がよりわかりやすく楽しめる作品鑑賞会を行います。

- ◇日時 9月20日〔日〕・10月18日〔日〕 いずれも13:30～（30分程度）
- ◇会場 美術館展示室（展示室入口集合）
- ◇対象 どなたでも ※室内が暗いため、未就学児は必ず保護者が手をつないでください
- ◇人数 先着20人
- ◇料金 展覧会入館券が必要です。
※但し、いずれも「家庭の日」のため高校生以下のお子様連れのご家族は無料です。

交通のご案内

- 鉄道 JR水戸線・関東鉄道常総線・真岡鉄道真岡線下館駅
北口から徒歩8分
- 自動車 北関東自動車道・桜川筑西ICから国道50号で約20分
常総自動車道・谷和原ICから国道294号で約60分
東北自動車道・佐野藤岡ICから国道50号で約60分
※地下駐車場または市役所駐車場をご利用ください。



しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

〒308-0031 茨城県筑西市丙372 アルテリオ3階
TEL 0296-23-1601 FAX 0296-23-1604
Email datebi@city.chikusei.lg.jp
HP <http://www.shimodate-museum.jp/>